

大会名 Competition	第24回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-106	Year Month Day Time 2011 年 5 月 4 日 10 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B										
明成高校	<table border="1"> <tr><td>13 1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>18 2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>10 3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>14 4th</td><td>30</td></tr> <tr><td colspan="2">OT</td></tr> </table>	13 1st	19	18 2nd	15	10 3rd	15	14 4th	30	OT		沼津中央
13 1st	19											
18 2nd	15											
10 3rd	15											
14 4th	30											
OT												
55 ●		79 ○										

主審:Referee 高橋 伸次 (群馬県)
副審:Umpire 谷地 温 (秋田県)
副審:Umpire 北沢 あや子 (岩手県)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials

能代高校

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4		藤井 祐希		-	-	-	-	0	4	×	反町 駿太	CAP	0	0	0	0	2
5	×	金子 大希		7	1	2	0	4	5	/	川口 颯		5	0	2	1	1
6		川東 聖司		-	-	-	-	0	6	/	清水 亮		0	0	0	0	2
7		白戸 大聖		-	-	-	-	0	7	×	鈴木 聖也		15	0	6	3	2
8	/	森川 文弥		5	1	1	0	2	8	/	山口 夏希		0	0	0	0	1
9	/	宮本 滉希		0	0	0	0	2	9	/	長坂 卓哉		2	0	1	0	2
10	/	岩田 裕介		0	0	0	0	0	10	×	石川 知樹		7	1	2	0	3
11	×	中村 優斗		12	0	5	2	3	11	×	小松 京太		13	0	5	3	0
12	/	柳川 知之		0	0	0	0	1	12	/	村上 友哉		0	0	0	0	0
13	/	市原 大臣		0	0	0	0	1	13	/	鈴木 康平		0	0	0	0	0
14	×	森 知史	cap	14	0	6	2	1	14	/	望月 孝祐		1	0	0	1	1
15	×	高柳 紗万		2	0	1	0	5	15	×	ソウ シェリフ		32	1	11	7	1
16	×	齋藤 巧己		15	3	1	4	1	16	/	砂川 剣人		0	0	0	0	0
17	/	山崎 友斗		0	0	0	0	0	17	/	岡田 雄三		4	0	2	0	0
18		本間 翔太郎		-	-	-	-	0	18	/	山口 力也		0	0	0	0	1
コーチ		佐藤 久夫							コーチ		杉村 敏英						
									Aコーチ		駒形 潤						
		合 計		55	5	16	8	20			合 計		79	2	29	15	16

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。序盤、明成はアウトサイドからのシュート、沼津中央はインサイドでのシュートで得点を重ねる。その後、両チームともなかなかシュートが決まらず膠着状態となる。残り4分に明成がタイムアウトを取るが、タイムアウト明けにペースをつかんだのは沼津中央であった。激しいディフェンスから相手のターンオーバーを誘い、#15ソウのダンクシュートなどで一気に連続8得点をたたき出す。明成は、#15高柳のフリースローや、#5金子のスリーポイントが決まり、第1Qは13-19の6点差で終了する。

第2Q、沼津中央が攻守に活躍した#15ソウをベンチに下げると、試合は明成ペースで進む。明成は#16齋藤の3P、#11中村と#14森のゴール下や速攻からのレイアップシュートで得点を重ね、残り3分、逆転に成功する。追いつかれた沼津中央は、そこから#5川口と#11小松のフリースローや#9長坂のジャンプシュートで再び逆転し、第2Qは明成31-34の3点差で終了。

第3Q、再びコートに戻ったソウに対して、明成はダブルチームでプレッシャーをかけ、序盤ソウをフリースローの1点のみに抑えることに成功。オフェンスでは#14森のゴール下や、#16齋藤のスリーポイントなどで再度逆転するが、そこからシュートが決まらない。逆に沼津中央に攻め込まれ、第3Qは41-49と沼津中央リードで終了する。

第4Q、明成はインサイドでディフェンスの核となっていた#15高柳が残り9分でファウルアウト。そこから沼津中央は#7鈴木、#11小松、#15ソウが加点し、一気に突き放しにかかる。明成も#8森川の3Pなどで応戦するが及ばず、その後リードを18点差まで広げた沼津中央が明成を55-79で下した。